



平成28年11月 4日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生  
(コード番号：4588)  
問合せ先 常務取締役 六反田 靖  
経営管理担当  
(TEL. 03-5472-1578)

## 営業外収益、営業外損失及び特別損失の計上並びに 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年12月期第3四半期累計期間（平成28年1月1日～平成28年9月30日）において、営業外収益、営業外損失及び固定資産の減損処理に伴う特別損失を計上いたしました。また、平成28年2月10日公表の通期業績予想の修正を下記のとおり行いましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益（金銭の信託運用益等）の内容

当第3四半期会計期間（平成28年7月1日～平成28年9月30日）において、金銭の信託運用益として7,557千円、及び東京都中小企業振興公社からの外国特許出願費用助成金810千円を営業外収益に計上しております。これにより、第3四半期累計期間（平成28年1月1日～平成28年9月30日）における営業外収益は受取利息等と併せ12,662千円を計上いたします。

#### 2. 営業外損失（為替差損等）の内容

平成28年12月期第2四半期累計期間（平成28年1月1日～平成28年6月30日）において、外国為替相場の変動による為替差損11,462千円を営業外損失に計上していましたが、当第3四半期会計期間（平成28年7月1日～平成28年9月30日）において、更なる円高が進んだことにより期初からの累計で為替差損13,281千円等を計上しました。その結果、当第3四半期累計期間（平成28年1月1日～平成28年9月30日）における営業外損失15,769千円を計上いたします。これは、主に当社の保有する外貨建て現金の評価替えにより発生したものです。

#### 3. 特別損失（固定資産の減損損失）の発生について

当社の検査事業で見込んでおりました売上高の達成が当事業年度内には難しいとの判断から、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき検査事業に関する神戸検査センターの固定資産等の回収可能性を検討した結果、減損損失47,353千円を計上いたしました。

#### 4. 通期業績予想の修正について

##### (1) 当期の業績予想数値の修正（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成28年2月10日発表）	百万円 188	百万円 △1,273	百万円 △1,273	百万円 △1,276	△138.94
今回予想値（B）	188	△897	△900	△949	△102.85
増減額（B－A）	0	376	373	326	—
増減率（%）	—	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成27年12月期）	121	△951	△854	△857	△93.35

##### (2) 業績予想の修正理由

今期の売上見通しは、血中浮遊がん細胞（CTC）検査薬として開発を進めているテロメスキャンを主とする検査事業において今期中の新規ライセンス契約による業績寄与の蓋然性が低下したとの判断に至った一方、医薬品事業においては、ライセンス導出に向けた活動を継続しております。そのため、通期売上予想値は据え置きます。一方、利益面につきましては、開発経費及び特許関連費用の効率化による適切な圧縮と、外的要因の変化などによる研究開発の遅延、更に円高による販管費の減少見込みに加え、上記のとおり検査事業関連固定資産の減損損失を特別損失に計上した結果、平成28年12月期通期業績予想値をそれぞれ営業損失897百万円、経常損失900百万円、当期純損失949百万円、1株当たり当期純損失を102円85銭へ修正いたします。

##### (3) 期末配当予想について

期末配当予想につきましては、修正はありません。

※上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以 上